

# 学童実施報告書

文責：牧野早也香（名古屋大学 3 年）

連絡先：nabeyaki0901@gmail.com

## 【実施概要】

日時：2014 年 2 月 27 日（木）16:30～17:30

場所：ポピンズアフタースクール

子どもの人数：14 人

対象年齢：小学 1～4 年生

学生的人数：15 人（うち滋賀医科大学 4 人）

内容：問診（お医者さんごっこ）、保健教育（応急手当）

## 【Time Schedule】

16:30～16:40 Ice Breaking

16:43～17:03 問診／保健教育（前半）

17:06～17:26 問診／保健教育（後半）

17:26～ あいさつ・片づけ

## 【準備】

準備開始日：2 月 16 日（日）

2 月 10 日 第 1 回打ち合わせ

2 月 16 日 第 1 回準備

（保健教育のテーマ決定、子ども・学生的人数振り分け）

2 月 18 日 第 2 回準備

（アイプレ内容決定、保健教育台本づくり、問診練習）

2 月 20 日 第 3 回準備

（保健教育台本完成、保健教育必要物品づくり）

2 月 21 日 第 2 回打ち合わせ

2 月 26 日 第 4 回準備

(直前練習)

2月27日 第5回準備

(直前練習)

【問診】(お医者さんごっこ)

○問診で工夫した点

・子どもたちにおしつけるやり方にならないように、検査を子どもが自由に選べるようにした(たとえば足が痛いときにインフルの検査キット選んでもいいよ的な)。

○反省点とそれに対する改善点

・高学年の子たちがきたないからと聴診器を使いたがらなかった。

⇒アルコール綿の出番??

・カルテの検査の欄に絵がないのでわかりにくい。

⇒絵をかいてわかりやすくする。絵の下に( )をつけて名前を書けるようにする。

・ぜんそくなどの病気は低学年の子が説明できない。

⇒あらかじめ勉強会を開いて、病気について知る。

ある程度の説明のテンプレートをつくる。

・高学年の子だと、仲がいい子が2人集まるとなかなか話を聞いてもらえない。

⇒高学年なら1人にするか、ペアをつくる時に先生に調整してもらう。

でも仲がいい子を引き離してしまうのはどうなんだろう?

【保健教育】

テーマ：応急手当

形式：劇と実践

○テーマを選んだ理由

学童の子どもたちがよく手術をして遊んでいるらしく(電子メスも使うらしい)

w)、子どもたちが自分たちで実践できるものを考えた結果、応急手当となった。

### ○使った道具

- 缶（缶けりで負傷した設定なので）
- ハンカチ（子どもたちに持ってきてもらった）
- 包帯
- ビニール袋（感染防護）
- RICE 法の説明の画用紙（OneDrive にあげてあります）
- 氷（スーパーのビニール袋にトイレットペーパーを丸めたものを入れた）

### ○保健教育の内容

まず子どもがケガをしてしまう劇をやり、前で応急手当（直接圧迫止血法、RICE 法）を実践した。

その後、子どもたちに実際にやってもらった。直接圧迫止血法は学生の腕に絵の具で血をかき、血がかいてある部分を子どもたちに持参してもらったハンカチを用いて実践してもらった。RICE 法では子どもが 2 人組になってもらい、抗体でお互いに RICE 法を実践してもらった。

劇の台本は OneDrive にあげてあるので、興味がある方はぜひご覧ください。

### ○工夫した点

- 子どもたちが受け身にならないように、自分で実践する時間を設けた。
- 自分のハンカチを持ってきてもらうことで、普段持ち歩いているもので応急手当ができることを伝えようとした。  
（保護者アンケートによると、ハンカチを持ち歩くようになった子がいるらしい！）

### ○反省点とそれに対する改善点

- 腕にかいた血が少しリアルすぎて怖がってしまったかも。  
⇒あまりリアルすぎなくてもやってくれるので、もう少しおさえる。
- 学生の腕に触るのをいやがる子がいた。

⇒子どもの性別と学生の性別を合わせた方がよかったかも。

### 【Ice Breaking】

#### ○内容（全身後出しじゃんけん）

グー、チョキ、パーを全力でからだ全体を使って表現する。

前の学生に対して、子どもたちに勝ってもらうように指示をして後出しじゃんけんをしてもらう。子どもたちに負けてもらう方もやった。

#### ○反省点とそれに対する改善点

- ・少し学生が多かった。

⇒子どもたちに威圧感を与えてしまうので、あらかじめ人数を調節する。

### 【全体】

#### ○反省点とそれに対する改善点

- ・反省の引き継ぎシステム・リーダーマニュアルを有効に活用できなかった。

⇒前回の実施で引き継ぎ書・新リーダーマニュアルをつくったものの、周知がたりなかったため、リーダーを早めに決めて目を通してもらえるだけの余裕をもつ。

カルテ、台本などのデータは OneDrive にあげてあるので、興味があればご覧ください。何か質問などあれば、牧野までご連絡ください。

[nabeyaki0901@gmail.com](mailto:nabeyaki0901@gmail.com)